

基礎科目(必修)

専門科目(必修)

専門応用(必修)

専門選択

共通選択

	1年次		2年次	
	前期	後期	前期	後期
管打楽器リペアコース	楽器奏法 I	楽器奏法 II	卒業研究 I	卒業研究 II
	楽器研究 I	楽器研究 II	楽器奏法 III	楽器奏法 IV
	リペア基礎(木管) I	リペア基礎(木管) II	楽器業界ビジネス I	楽器業界ビジネス II
	リペア基礎(金管) I	リペア基礎(金管) II	楽器店実習	リペア応用(木管 I) B
	リペア基礎(総合) I	リペア基礎(総合) II	リペア応用(金管 I) A	リペア応用(金管 I) B
	リペア基礎演習(木管) I	リペア基礎演習(木管) II	リペア応用(木管 II) A	リペア応用(木管 II) B
	リペア基礎演習(金管) I	リペア基礎演習(金管) II	リペア応用(金管 II) A	リペア応用(金管 II) B
	吹奏楽理論 I	吹奏楽理論 II	リペアグレード対策(木管)	リペア特講(木管)
		音楽総合特講 I	リペアグレード対策(金管)	リペア特講(金管)
			リペアグレード対策(総合)	ウインドアンサンブル II C
		ウインドアンサンブル II A	ウインドアンサンブル II D	
		ウインドアンサンブル II B	打楽器リペア	
		音楽総合特講 II	弦楽器リペア	
教養科目: 必修科目 10 単位、専門科目必修 46 単位、選択 9 単位				

C  
P

- ①豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。
- ②音楽を通して人間的な成長と専門的な知識と技術を学ぶための基礎教育と専門教育を実施する。
- ③地域社会の音楽文化の向上に貢献し、地域で求められる活動を学び推進させるために充実した学外演奏やボランティア活動、実習を実施する。
- ④各コース担当者は授業時間外で学生との対話に努め、能力に応じた指導を行い、個々の成長を支援する。
- ⑤学生は自ら専攻するコース以外でも選択可能な他コースの授業を受講することができ、広い知識を身につけることができる。
- ⑥音楽関係、心理関係の資格取得を支援する教育を実施する。

D  
P

- ①音楽の基礎的な理論や曲の生まれた背景を理解し、人に音楽を伝えるための知識を修得することができる。
- ②音楽演奏や教育を行うにあたって必要な理論を適切に判断し、相手の理解に応じて伝えることができる。
- ③音楽の専門家としての情報収集能力と技術をもち、関係職種と連携できるコミュニケーション能力がある。
- ④常に自己資質の向上をめざし、積極的に音楽を通じて人と関わり、地域との連携、音楽文化の向上に向けた社会貢献を推進していくことができる。